

農家の戸数は

断然他郡を壓す

石城郡農會最近の調査

石城郡農會で最近調査した全郡下の農家戸数は最も多い、自作兼小作農が五千六十九戸で縣下第二位にあり次ぎは自作の四千五百九十四戸で同く縣下第二、小作農は四千六十二戸を占め縣下第一位にある等本郡の農家戸数は断然他郡を壓して居ると

磐陽野球決勝 雨天

其の他種々の都合に依り延期されてゐた磐陽野球大會の決勝戦入山對磐炭の試合は今シーズンの掉尾を飾つて来る十九日午後一時より磐中球場で熊、水竹、佐藤の三氏審判の下に行ふ事になった

濱三郡 排球取止めか

締切日のけふ申込み一校

既報来る十九日平第一小學校グラウンドに於て開催される濱三郡小學校兒童ドッチボール大會の申込み締切日のみである所から多分取止めに成る模様である

供託局長會議 平區

裁判所監督書記小野榮一氏は来る二十二、二十三の兩日福島地方裁判所に於いて開れる管内區裁判所監督書記及び供託局長會議に出席するが當日平區裁判所より提出事項は「複代理人選任の特別委員なき訴訟代理人は強制執行の立會並無濟受領に付代理人の選任を爲し得るや」外十三項である

埋立護岸 四倉町申請

四倉町では工費八千八百二十四圓で同町岨川地内海岸

神宮選手 一般で慰勞

千二百九十七坪埋立事業及び失業救済を兼ねて新町境川筋の護岸工事を四千圓の豫算で執行すべく昨日日本縣に許可申請書を提出したが同護岸附近は海水浸入して耕作地を荒す爲めに工事延長は百十八米である

常設館たより

平町警防聯盟協會は過般晴の明治神宮庭球大會に出場した平南安島、木田兩君警中の川隅、小川兩君の慰勞會を催すべく目下準備中であるが發行人は左の如く期日場所等は未定であると阿部政右門 吉田金作 關内正一 新田目春松 菅本利雄

埋立護岸 四倉町申請

四倉町では工費八千八百二十四圓で同町岨川地内海岸

木傳明、夏川靜江主演「東京祭」
世界館、新興時代劇、雲井龍之助、淡路千夜子主演「風流一代男」新興現代劇、由利健次、花房銀子主演「時雨ひと、き寛壽郎」プロ時代劇、嵐寛壽郎淡路千夜子主演「山を守る兄弟」

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

毛糸編物講習會

十一月十四日ヨリ二十日迄七日間 午前九時ヨリ午後三時マデ 會場——ハシモトヤ糸店階上 皆様と共に編物と手藝の研究を致し度と思ひます 店員始め編物の達者な方數名が御相手致します。

合名 會社 ハシモトヤ糸店 平・田町 電十四番

かまぼこ製造 杉本造

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 平町一丁目 電話一四一番

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科 平南町 (電話一七〇番)

和 田 醫 院



巷の話題

酒操堅固の父

「びつくりしなくてもえ、です、幾ら酒好きでせ伴が入替と決つたら酒どころでござへん、ふつり止めますだ、い」
「威スン、禁酒のお祝にまア一バイ」
「いや、ダンゼン止めます、す、その代り伴が除隊

見下げた食辛抱

「ア、おますさんが結婚するなんて目出てえや、何はなくとせ二の膳はつくだらう、有難てえぞ、久しぶりで飲めるわい、したが随分待たせるぢやアねえか、おや、ア、みんなよろしくやつてやがアア、チエツ、まええしいなア」
「おい、おますさん、な

みなで遊ぼうや

「おい、多惣治オン親父の稲盗んで来るから、そなた隠して調理しろよ」
「よしガツ点だ、ほだら吉にせ傳にせ盗ませせえ、親爺の稲なら大したことねえよ」
「笑はせらア、親爺の稲盗んだの、俺だけじゃ、まア

そ、れ、見、な、い

「い、わ、決して御心配かけませんワ、非常時日本のことですもの、女學校の先生なんかより飛行士になつに方がどだけ意義あるか

知られせんもの……

彼女、目出度二等飛行士の免状を得、いま晩秋の輝やかな大空にサンサンと銀翼を羽ばたかせて、妙技を演じて居る——鷹巣町飛行大會の最中
「へん、甘いせんさ、飛行機ほどに早い會計の俺を知らねえか、おやあるぞ、シメ、な、ア、なんだ、シメ、ミ、ズ、まで、いや何かになるだらう、ドッコイシヨ」
「で、ドロン」
——鷹巣町から

就職口見付に

矢野校長が苦衷を語る

平商業學校に於ける來春の卒業生四十名中自家營業の十五名を差し外は全部就職希望者で確定したものは日立製作所及び同礦山を始め地元各炭礦會社の十名に達したが近く關西方面に就職口探しに出張する筈の矢野校長は語る

地元は就職上に大した競走相手もなくそれに各方面共よく了解してくれま

地元は後廻しに

磐女の火防展 磐女の火防ポスター展覽會は近く催される筈にて優秀なるものには夫々賞品を授與すると

縣境のトンネル 既に工事を終り

いまはお化粧中

勿來町と平瀧町との縣境にある國道九面トンネル開鑿工事はその後順調に進みこの程支柱柱全部を外して目下外壁の化粧に移つたが遅くも今月下旬に完成の見込みなので勿來、平瀧兩町では十二月中旬トンネル傍らで盛大な竣工祝賀式を舉行する豫定である

官行林で

山神祭舉行

平營林署では本日午前九時より上小川村戸渡官行事務所に於て山神祭を舉行し式後祝宴に移り従事員の慰安を兼ね映畫等の催しがあつた

炭車轉落死者に

入山炭礦五百圓扶助支給

湯本字八仙抗夫長屋二の七號居住本島勝利(三)は去る十三日午後五時頃入山炭礦第五坑内で炭車運轉中誤つて轉落頭部や腹部に重傷を負ひ直ちに炭礦病院で手術を受けたが昨十四日午前三時遂に絶命したので會社側では遺族の扶助料として五百圓を支給した

上京かと

雇主が心配

小名濱町字下明神町家具職大井健吉方雇人山形縣東村山郡大澤村生れ金澤宏(一九)假名は去る十三日夜活動見物に行くと稱して家を出た

仙台藩 座談會

在住藩人集る

平町在住仙臺藩人會の總會は来る十八日夜田町大真に於いて開くが會後仙臺藩に就いての座談會を催すと、會費一圓八十錢である

弓道職員勝つ

既報

磐女弓道部主催の同校職員對生徒の弓道大會は昨日午後二時より櫻ヶ丘弓場に於いて開催されたが十八對十のスコアにて職員側が勝つた

警女生の 茶の湯實習

渡邊青年修養

警女三、四年生は来る二十一日午後一時より受持の先生を招待し同校作方室で茶の湯會を催し實習を行ふ

平職業紹介所報告

求人を求める方

- △女中 三十迄 尋卒 月五圓(平町某)
- △工場雑役 十六才 高卒 給料面談(平町某)
- △鍛冶工手職 二十三迄 尋卒 月十圓(江名町某)
- △小店員 十六才 高卒 月三圓(平町某)
- △回職を求める方
- △自動車助手 二十一才

平商使丁室より 火災が起る

但し演習想定

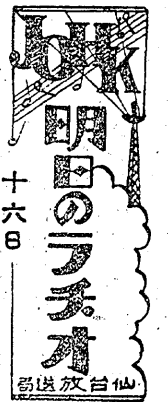
けふ火防デー種々の催し

本日午前十時頃平商業學校使丁室より火災起り危く同第一小學校々舎に移焼せんとしたので平少年消防隊百餘名が逸早く馳け附け消火に盡力し同十一時頃漸鎮火し事なきを得たが一時は全校児童避難の無め難踏を呈した

炭礦方面 火防注意

病人を搬出

磐城、入山、古河各炭礦では本日の防火宣傳デーに際し各戸にピラを配付し竈検査を行ひ注意する處あつたが磐炭病院では午後零時十分を期し目下收容中の病人搬出作業を試み非常時の豫行演習を行つた



今晩も明日も北東の風晴後雨模様

- 今晩の部
- ▲後六、〇〇(子供の時間) 少年講談 三浦樂堂
 - ▲後七、三〇 講演「將來のインフレ政策」小島昌太郎
 - ▲後八、〇〇 ラヂオドラマ
 - ▲後八、五〇 ビアノ獨奏
- 明日の部
- ▼前七、〇〇 基礎獨語講座(二十六)橋本忠夫
 - ▼前九、一〇 料理献立
 - ▼前一〇、三〇 家庭講座

- 「近頃の女學生の傾向」
- 就て「伊藤靜江」
 - 後〇、〇五 吹奏樂(一) 行進曲「眞實の友」外四曲 海軍々樂隊 指揮樂長内藤清五
 - 後二、〇〇 家庭大學講座「ベルマの話」加納四郎
 - 後二、三〇 潜水母艦大鯨進水式實況「横須賀軍港より中継」
 - 後五、三五 受験講座「幾何」高見豊
 - 後六、〇〇(子供の時間) お話「無電の父マルコニ
- 「先生」 柚木卯馬
- 後六、二五 英語講座(四)の二) 渡邊半次郎
 - 後七、三〇 講演「故上原元師を偲ぶ」陸軍參議官陸軍大將渡邊錠太郎
 - 後八、三〇 義太夫「三十三所觀音靈驗記」壺坂寺の段) 文樂座 浄るり竹本 鍛太夫
 - 後八、三〇 ラヂオドラマ「長英生きる」眞田明二外 大勢 指揮住吉邦郎
 - 後九、五〇 小唄「月はおぼろ」外數種 立花家金八

木村外科醫院

平町五丁目 橋目 院入炊自

市原醫院

平町田町 電話二一四番

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫

第九十回

血に飢ゆる村正

妖刀の妖を發揮す

肩先き深く切り込まれも
だへ苦しむ榮之丞の鬚を掴
んで引き摺り寄せ、倒れて
居る八ッ橋を引起した上活
を入れると是も蘇生は致し
ましたが榮之丞の切られた
様子次郎左衛門の怒りの顔
色、今は口さへきけぬと見
えて手を合せて拜んで居る
を、何しに用捨を致しませ
うか、鬚を掴んで引寄せて
乳の下深く突き通され、ア
ーと揚げる聲さへ哀れに
こそは聞えれど榮之丞、八
ッ橋の鬚を一つにむすび附
け二人を夫へねかして置い
て一寸、二寸の弄り切り終
に弄り殺しに致しました、
此の騒が早く知れさうなも
のでございませすが真夜中過
ぎなり奥まりし八ッ橋の部
屋の事で左程に知れなかつ
たと見えます。次郎左衛門
は其儘に傍にあつた水一口
ガツクリ飲んで血刀の血を
拭つて提げたま、終に萬字
屋の家を立出でました、是
は萬屋へ歸つて夫婦を殺し
丸善藤八、阿波太夫を殺し
て了れば腹が癒ぬといふ所
から仲の町へ出たものと見
えます、丁度萬屋の家へ來
ると天命と云ふものは

の無いもので、晝間から夜
に入るまで八ッ橋樓の座敷
開き、今夜の勘定物入りを
總計をすれば二千兩から明
日金を受取る約束、萬屋の
家に阿波太夫、丸善、藤八
萬屋夫婦五人の者が前祝ひ

藤「花魁にも困るちやアね
えか、立て替へから入用の
金を受取つた後ならどうし
てもいゝが、今夜だけはい
ゝ鹽梅に勤めて呉れるやう
に頼んで置いたのに」
善「夕方から榮さんを迎へ
にやつてゐたのだからキッ
ト二人でいちやついて居る
所をお化が見たんだぜ」
左「お前達も餘りお化〜
といはねえ方がいゝ、耳へ
入ると大事の前の小事ぢや
アねえか」
仲「早く、阿波さん開けて
おやりよ」
阿「オット承知……」



と夜明して飲んで居る所へ
次「一寸開けて呉れ〜」
といふ聲は確に次郎左衛
門でございませから
阿「オイ、お化が歸つて來
たせ」
仲「キツト又花魁がひどい
ふりやうでもしたのだよ」

と門口を開けながら
阿「旦那様お歸りでござい
ませう、萬字屋から誰か送
つて來さうなものでござい
ませう」
と云ふのを待たず次郎左
衛門再び抜いた籠釣瓶、水
も堪らず阿波「大の首は前

に落ちました、其の物音に
萬屋のお仲、梯子を下りて
來る所を延び上つたる次郎
左衛門横に拂つた脇差しに
お仲はバツタリ二ツになり
ました、此の物音に丸善、
藤八逃げやうと致しました
が茶屋の二階の一方口、兩
戸を開けに掛る所を透さず
飛掛つて二人を斬り倒しま
した、萬屋の亭主左次右衛
門はブル〜振へて齒の根
も合す

きました、次郎左衛門は固
より切腹をしやうとの覺悟
であつたが斯う捕方が向ふ
上は斬り拂つて目に物見せ
て呉れやうといふ氣になり
ました、之が即ち妖刀村正
の祟りでございませう、表口
ではワイ〜騒いでゐるか
ら裏口の手薄の處から飛出
して廣い場所へ出る考へ、
柄杓で一杯水をのんで路次
から出やうとすると路次に
一人差子の長半天に提灯を
腰に提げ巾廣の木綿小倉の
三廻りをしめて能く差した
股引に草鞋穿き、甲斐〜
しい扮装で六尺の齋口を取
つて、次郎左衛門か首を出
したら打おろさうと身構へ
て居た、考へはよかつたが
生憎次郎左衛門は心得のあ
る男だから首を出さずにヒ
ヨイと刀の切先を出した、
片ッ方はあはて、打おろす
力が餘つて溝板へポーンと
打込んだから、サア抜けな
い、マゴ〜してゐる處を
次郎左衛門がポロリと首を
打落した、之は萬字屋の齋
の者で辰五郎といふ者だ。

御用命は印刷物の
常磐日印刷株式會社
電話三六〇番

産科 婦人科 長 院 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 立番彌一
平町新川町十九
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

完全燃焼の爲め
煙筒掃除の要無き
日本一の
フクロク、ストーブ
御申越次第カタログ持參
御伺ひ致します

發賣元
平町五丁目
文釜屋商店
電話九番
平 驛 前
阿部石炭商店
電話三七番

金銀高價買入
各國時計・眼鏡・貴金屬
御修繕は専門の當店へ
根本時計店
平二(電話六〇七番)